

新基地建設反対名護共同センターニュース

2020年沖縄県議選オール沖縄候補一覧



オール沖縄の勝利で新基地中止しコロナ対策に予算を！

新人・しまぶく候補が急迫！

沖縄市区（定数 5）の新人・しまぶく恵佑候補（共）は、デニー知事や嘉陽宗儀県議などの支援を受け「辺野古新基地の予算をコロナ対策に」と訴え急速に市民の共感を広げています。最終盤、最後の 1 議席を自民党候補と争う大激戦となっています。



**名護市山里氏、浦添市西銘氏など
4選挙区で無投票当選**

名護市、うるま市、浦添市、石垣市の4市で無投票となり合計12人の当選が決まりました。この結果、名護市で山里将雄（無）、うるま市の照屋大河（社民）、山内末子（無）、浦添市の西銘純恵（共）、当山勝利（社大）のオール沖縄の6氏が当選しました。他は自民党5人、中立1人です。

名護民商が吉田氏を推薦決定

名護民商（仲本興真会長）は3日、三役会議で国頭郡区の吉田勝彦候補（無）を推薦決定しました。同民商では「吉田氏は機関紙・商工新聞読者であり准会員」と位置づけ郡内400人の会員に徹底するなど支持拡大に奮闘中です。



デニー知事、城間那覇市長も訴え

那覇市・南部離島区の「オール沖縄」6候補は5月30日、合同演説会を開きました。玉城デニー知事は「新基地を止めるためにも与野党逆転を許してはいけない」と訴えました。

「辺野古」工事は依然中断 県議選後に再開か



塩川港沖に運搬船 20 隻待機

4日現在、辺野古ゲート前や海上でも名護湾の琉球セメントでも警備員が各数人配置に着いているだけで工事は中断したままです。しかし、3日午後現在、本部塩川港沖に運搬船約20隻が待機し続けています（写真右）。

ヘリ基地反協・仲本興真事務局長は「県議選が終了したら工事を再開するかもしれない」と話しています。

